

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 審用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭59-158413

⑫ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 01 D 23/10  
C 02 F 1/28

識別記号

序内整理番号  
6949-4D  
6685-4D

⑬ 公開 昭和59年(1984)10月24日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 液体沪過装置

工業株式会社長崎造船所内

⑮ 実 願 昭58-51478

⑯ 出 願 昭58(1983)4月8日

東京都千代田区丸の内2丁目5

⑰ 考案者 金子謙三

番1号

長崎市飽の浦町1番1号三菱重

⑱ 復代理人 弁理士 内田明

外1名

⑲ 實用新案登録請求の範囲

脚及び架台受によって支承され、中央部に下向の沪過水出口管を備えたはゞ水平向の架台と、同架台上に載置され側部にマンホール、内部上方に沪過原水入口管を介して取付けられた散水ホツバ及び上端部に空気抜座を具備するカプセル状の沪過槽本体と、同本体内に沪過材である砂利、砂及び活性炭がそれらの粒径に対応してそれぞれの網目の異なる金網を介して積層されてなる液体沪過

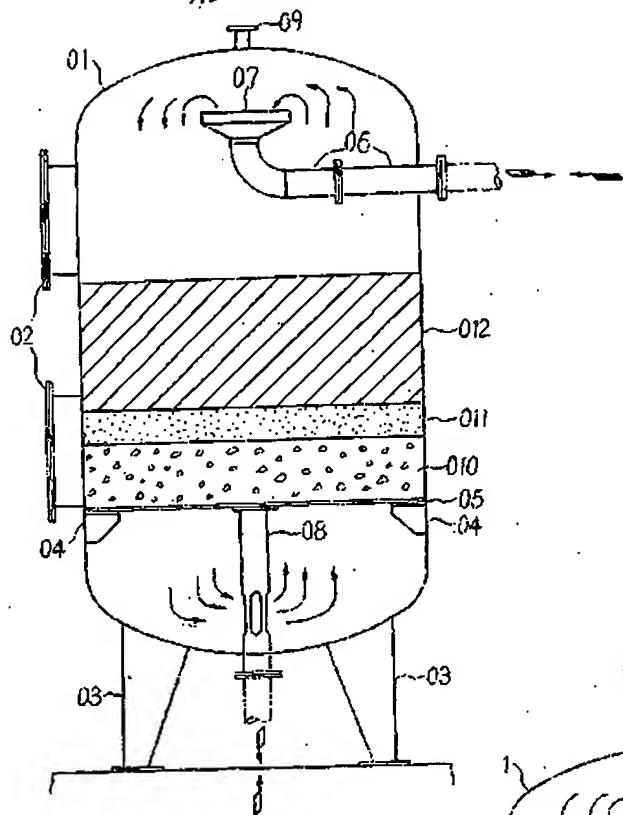
装置。

図面の簡単な説明

第1図は従来の液体沪過装置の縦断面図、第2図は本考案液体沪過装置の縦断面図である。

第2図において、1:沪過槽本体、2:マンホール、3:脚、4:架台受、5:架台、6:原水入口管、7:散水ホツバ、8:沪過水出口管、9:空気抜座、10:砂利、11:砂、12:活性炭、13、14、15:金網である。

第1図



第2図

